学校感染症による出席停止について

学校で予防すべき感染症に罹患した場合、学校保健安全法施行規則によって、出席停止となります。

医師から登校してもよいといわれるまで、自宅療養してください。

この措置はお子様の病気の早期回復と他の人への感染を予防するものであり、出席停止期間中は欠席扱いにはなりません。登校の際には下記の「出席停止届」を保護者の方が記入のうえ、学校に提出してください。医師の判断以外での、無理な登校はしないようお願いいたします。

〈学校感染症と出席停止期間（令和5年5月8日施行）〉

	病 名	出席停止期間
第一種	エボラ出血熱、クリミア・コンゴ出血熱、痘そう、南米出血熱、ペスト、マールブルグ病、ラッサ熱、急性灰白髄炎(ポリオ)、ジフテリア、重症急性呼吸器症候群(病原体が β -コロナウイルス族SARSコロナウイルスであるものに限る)、中東呼吸器症候群(病原体が β -コロナウイルス属MERSコロナウイルスであるものに限る)、特定鳥インフルエンザ*	医師の許可があるまで（治癒するまで）
第二種	インフルエンザ（特定鳥インフルエンザを除く）	発症した後5日を経過し、かつ解熱したあと2日(幼児にあっては3日)を経過するまで
	流行性耳下腺炎（おたふくかぜ）	耳下腺、顎下腺、舌下腺の腫脹が発現した後5日を経過し、かつ全身状態が良好になるまで
	百日咳	特有の咳が消失するまで又は5日間の適正な抗菌性物質製剤による治療が終了するまで
	風疹（三日ばしか）	発疹が消失するまで
	麻疹（はしか）	解熱した後3日を経過するまで
	水痘（水ぼうそう）	すべての発疹がか皮化するまで
	咽頭結膜熱	主要症状が消退した後2日を経過するまで
	結核、髄膜炎菌性髄膜炎	感染のおそれがないと医師が認めるまで
第三種	新型コロナウイルス感染症	発症した後5日を経過し、かつ症状が軽快したあと1日を経過するまで
	コレラ、細菌性赤痢、腸管出血性大腸菌感染症、腸チフス、パラチフス、流行性角結膜炎、急性出血性結膜炎	医師が感染のおそれがないと認めるまで
	その他の感染症（手足口病・溶連菌感染症・ヘルパンギーナ・マイコプラズマ肺炎・ウイルス性肝炎・ノロウイルス等）	条件により出席停止となる感染症

※発症した日、症状が軽減した日を0日として起算する。

江東区立第三砂町中学校長様

出席停止届

令和 年 月 日

年 組 氏名

病 名	
出席停止の期間	令和 年 月 日 ~ 令和 年 月 日
受診医療機関名	電話 ()

保護者氏名

※すべて保護者が記入し、学校にご提出ください。